

福島ロボットテストフィールド研究棟開所式に伴うフォーラム 開催事業委託仕様書

1 事業目的

福島ロボットテストフィールド（以下「RTF」という。）研究棟の開所式に、多くの来場者（特にビジネス目的）を呼び込むため、フォーラムを開催する。

また、RTF研究棟入居者や福島イノベーション・コースト構想に関連する地元企業・進出企業の取組を紹介し、業務提携、販路拡大、資金調達等のマッチングを図る。

2 事業内容

(1) 事業名称

福島ロボットテストフィールド研究棟開所式に伴うフォーラム開催事業

(2) 予算額

7,000,000円（消費税及び地方消費税を含む。）

(3) 業務内容

ア) フォーラム開催

RTF研究棟開所式（主催：福島県、公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構（以下「機構」という。））の併催行事として、以下①～④からなるフォーラムを主催すること。

① フォーラム概要

日程：令和元年10月26日（土）

会場：RTF研究棟1階カンファレンスホール、1階エントランスラウンジ、2階会議室1～3（3部屋一体利用）

※日時、RTF研究棟内部屋割りは機構と協議の上で確定させることとする。

以下記載における日時、RTF研究棟内部屋割りも同様とする。

② 形式・テーマ

- RTF研究棟1階カンファレンスホール、2階会議室1～3の2会場で並行して開催すること。
- 各会場で、それぞれテーマを設定した短時間のセッションを、2会場合計で5～6程度開催すること。
- 各テーマは、RTF、福島イノベーション・コースト構想、登壇者の性質に応じて、それぞれ設定すること。
- その際の登壇者は、RTF研究棟入居者、福島イノベーション・コースト構想に関連する地元企業・進出企業を中心として、各テーマに沿った取り組みを展開する産学の著名人とする。登壇者は各セッションで3～5名程度とすること。
- 各セッションを円滑かつ活発に進行できるモデレータを登壇させること。
- 全テーマに関連の深い基調講演を、少なくとも1つ設けること。
- フォーラム及び後述のポスターセッションは、マスコミ関係者に対して公開で行うこと。
- 来場者として、投資家や調達責任者など登壇者にとって業務提携、販路拡大、資金調達につながる人物を、都市圏から呼び込めるよう、事業提案を行うこと。

③ ポスターセッション

- RTF研究棟1階エントランスラウンジでポスターセッションを行うこと。
- 発表者は、上記登壇者と同様の性質の者を中心に、10～15程度選定すること。
- ロボットなどの製品の実物展示も可とすること。

イ) 前日行事開催

フォーラムの各セッションに向けた事前理解を深められるよう、登壇者や来場者の一部が前日（10月25日（金））からRTFへ来場し、ロボットなど登壇者の製品を実際に動かしながら相互

交流が深められる補助的行事を開催すること。

ウ) フォローアップ

登壇者を中心に、フォーラムの成果として、ほかの登壇者や来場者との業務提携、販路拡大、資金調達につながったか否かを聞き取るとともに、マッチングや業務拡大に向けてアドバイスを行うこと。

また、当該聞き取りの結果や、フォーラムの開催報告、次回の同様のフォーラムに向けた改善提案について報告書にまとめて提出するとともに、その報告書に基づき、機構と意見交換の場を少なくとも1回以上設けること。

3 履行期間

契約締結日から令和元年12月31日